**２０１7年（平成２9年度）複数年サイクル点検評価レポート【施策評価】**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 分野名 | **Ⅱ-1　低炭素・省エネルギー社会の構築** | 施策No. | **10** | 施策名 | **地球温暖化に対する適応策の推進** |

|  |  |
| --- | --- |
| **目的、内容** | ・影響が生じると考えられる各分野の取組みに「適応」の視点を取り込んでいき、リスクの回避・低減の取組みを長期的に進める。・「緩和」と「適応」を両輪として温暖化対策を進める。 |
| **副次的効果、外部効果等** | ・ヒートアイランド現象の緩和に資する。 |
| **関係法令、行政計画等** | ①　大阪府地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（2015年3月策定、計画期間2020年度まで）②　おおさかヒートアイランド対策推進計画（2015年３月策定、計画期間2025年度まで） |
| **国等の政策、社会情勢等** | 気候変動の影響への適応計画（2015年11月閣議決定） |
| **（参考）****講じた施策に記載した施策事業コスト** | 2014年度（決算額）（千円） | 2015年度（決算額）（千円） | 2016年度（決算見込額）（千円） |
| 0 | 0 | 0 |
| ※各年度で「講じた施策」への掲載事業が異なることから、新規事業の有無等に関わらず、年度間でコストの増減がある。 |
| **取組指標及び実績**（施策効果の定量評価） |  | 名称 | 把握方法 | 実績 |
| ① | 「適応」の認知度 | 府インターネットアンケート（参考値） | 2016年度「言葉を聞いたことがあり、なおかつ意味も知っていた」の回答7.9％ |
|  |
| **工程表の進捗状況** | 工程名 | 進捗状況※ | 主な事業の名称 | 事業の実施状況 |
|  | 地球温暖化の影響の把握、調査研究・適応策の検討 | ☆☆ | 「おおさかヒートアイランド対策推進計画」に基づく取組 | おおさかヒートアイランド対策推進計画に基づく取組みを実施 |
|  | クールスポットモデル拠点推進事業 | 民間の敷地内に、夏の昼間の暑さを改善するクールスポットモデル的に整備する設備費の一部を補助。整備完了地点：２件（2016年度） |
|  | 今世紀末における地球温暖化の影響調査 | ・2015年8月に国が設立した「気候変動適応情報プラットフォーム」を活用し、全国の地球温暖化の影響を把握・「環境省環境研究総合推進費S-8温暖化影響評価・適応政策に関する総合的研究」の成果を国立環境研究所から取得し、大阪府域における各分野の気候変動の影響を把握・気象台より大阪府の将来気候予測を取得 |
|  | 温暖化に係る適応策の検討 | ・自然災害や健康等、７つの分野についての「適応に係る影響と施策」の検討を実施・「大阪府地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に位置づけるために、「適応」の基本的方向性の検討を実施 |
|  | ※進捗状況：☆☆☆計画以上の進捗／☆☆計画どおり／☆計画以下の進捗／△計画とは異なる事業内容で進捗 |
| **評価** |  | 評価 | 理由等 |
| 施策目的の達成状況 | 想定以下の進捗 |  |
| 事業・工程の進捗状況 | 概ね想定どおり進捗 | ・おおさかヒートアイランド対策推進計画に掲げた取組みについて、順調な進捗。・クールスポットモデル拠点推進事業について、予定件数どおりの整備が完了済み。 |
| **計画見直し又は改善事項** |  | 見直し・改善点の有無 | 見直し・改善点の内容等 |
| 目標 | 無 |  |
| 施策の方向・主な施策 | 無 |  |
| 工程表 | 無 |  |
| その他の改善事項 | 無 |  |
| **関係課室** | エネルギー政策課 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **環境総合計画部会委員による点検（所見）** | 点検評価手法の適正さについて | 評価結果について | 計画の見直し又は改善方針について |
| 国の適応計画を参考にして、大阪府の適応対策の必要性について、個別的に検討し、必要に応じて施策の目標、それを達成するための施策について検討すべきである。取組指標が、認知度だけというのでは、あまりに時代遅れの感を抱かざるを得ない。施策としても、ヒートアイランド対策だけでよいのか。 | 同左 | 同左 |